

大小2個のさいころを同時に投げるとき、出る目をそれぞれ a, b とする。このとき、座標平面上の直線 $ax + by = 1$ を l とし、 l と x 軸の交点を A 、 l と y 軸の交点を B とする。さらに原点を O とし、 $\triangle OAB$ の $\angle OAB$ を θ とする。以下の問いに答えよ。

- (1) $\cos \theta < \frac{1}{3}$ となる確率を求めよ。
- (2) $2 \sin \theta \cos \theta$ が整数となる確率を求めよ。
- (3) $\triangle OAB$ の内接円の半径が有理数となる確率を求めよ。

(23 公立はこだて未来大 シス情 1)

【答】

- (1) $\frac{5}{36}$
- (2) $\frac{1}{6}$
- (3) $\frac{1}{18}$

【解答】

a, b は 1 以上 6 以下の整数であり、組 (a, b) は 6^2 個あり、これらは同様に確からしい。

$$\begin{aligned}
 (1) \cos \theta < \frac{1}{3} &\iff \frac{OA}{AB} < \frac{1}{3} \\
 &\iff \frac{3}{a} < \sqrt{\frac{1}{a^2} + \frac{1}{b^2}} \\
 &\iff 3b < \sqrt{a^2 + b^2} \\
 &\iff 8b^2 < a^2 \\
 &\iff 2\sqrt{2} < \frac{a}{b}
 \end{aligned}$$

これを満たす組 (a, b) は

$$(a, b) = (3, 1), (4, 1), (5, 1), (6, 1), (6, 2)$$

の 5 個である。求める確率は

$$\frac{5}{6^2} = \frac{5}{36} \quad \dots\dots(\text{答})$$

である。

- (2) $2 \sin \theta \cos \theta$ を a, b で表すと

$$2 \sin \theta \cos \theta = 2 \cdot \frac{OB}{AB} \cdot \frac{OA}{AB} = 2 \cdot \frac{\frac{1}{b} \cdot \frac{1}{a}}{\frac{1}{a^2} + \frac{1}{b^2}} = \frac{2}{\frac{b}{a} + \frac{a}{b}}$$

である。 $2 \sin \theta \cos \theta$ が整数となるのは、 $\frac{b}{a} + \frac{a}{b} \equiv 1$ より

$$\begin{aligned}
 \frac{b}{a} + \frac{a}{b} = 2 &\iff b^2 + a^2 = 2ab \\
 \therefore (a-b)^2 = 0 &\quad \therefore a = b
 \end{aligned}$$

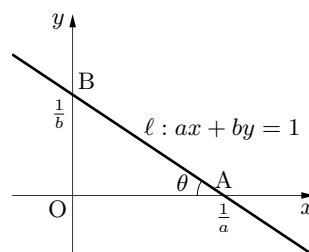
のときであり、組 (a, b) は

$$(a, b) = (1, 1), (2, 2), (3, 3), (4, 4), (5, 5), (6, 6)$$

の 6 個である。求める確率は

$$\frac{6}{6^2} = \frac{1}{6} \quad \dots\dots(\text{答})$$

である。



(3) $\triangle OAB$ は $\angle AOB = 90^\circ$ の直角三角形であり、内接円の半径 r は

$$\begin{aligned} r &= \frac{1}{2}(OA + OB - AB) \\ &= \frac{1}{2} \left(\frac{1}{a} + \frac{1}{b} - \sqrt{\left(\frac{1}{a}\right)^2 + \left(\frac{1}{b}\right)^2} \right) \\ &= \frac{b + a - \sqrt{b^2 + a^2}}{2ab} \end{aligned}$$

である. r が有理数となるのは $a^2 + b^2$ が平方数のときであり、組 (a, b) は

$$(a, b) = (3, 4), (4, 3)$$

の 2 個である. 求める確率は

$$\frac{2}{6^2} = \frac{1}{18}$$

……(答)

である.